

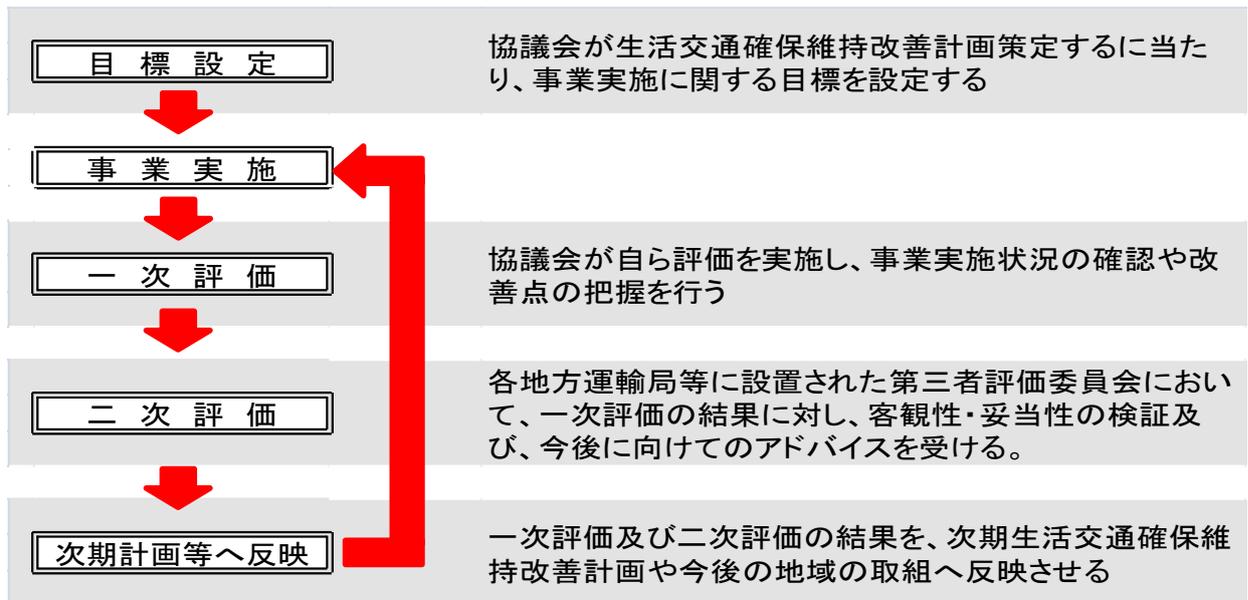
## 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

## 1 事業評価について

## (1) 概要

地域公共交通確保維持改善事業による支援を受けた事業については、協議会が自ら事業の実施状況の確認、評価を行い、国に報告することとなっている。

## (2) 事業評価の流れ



## 2 対象事業

## (1) 平成27年度（上半期）鴨川市コミュニティバス運行業務

- ・ 運行路線及び系統 3路線6系統
  - 北ルート 金山ダム～鯛の浦～内浦山県民の森  
金山ダム～鴨川駅西口
  - 清澄ルート 天津小湊支所～奥清澄
  - 南ルート 曾呂終点～鴨川駅前  
曾呂終点～鴨川駅西口  
浦の脇～鴨川駅前
- ・ 運行事業者 鴨川日東バス株式会社
- ・ 補助内定額 7,691千円

## (2) ユニバーサルデザインタクシー導入促進事業

- ・ ユニバーサルタクシー車両 1台導入
- ・ 実施事業者 有限会社鴨川タクシー
- ・ 交付額 512千円

## 3 一次評価（事業評価）について

別紙のとおり

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

平成 年 月 日

協議会名: 鴨川市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
鴨川日東バス株式会社	①北ルート 金山ダム～鴨川駅西口～鯛の浦 (～5/30) ～内浦山県民の森 (6/1～) ②北ルート 金山ダム～鴨川市役所～鴨川駅西口 ③南ルート 曾呂終点～鴨川駅西口～鴨川駅前 ④南ルート 曾呂終点～江見小学校～鴨川駅西口 ⑤南ルート 浦の脇～東条病院～鴨川駅前 ⑥清澄ルート 奥清澄～天津駅前～天津小湊支所	前回の事業評価結果なし	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 利用目標18,745人/年に 対し、実績では19,101人/ 年であった。 内訳は以下のとおり ・北ルート 実績 8,053人/年 対前年比 99.8% ・清澄ルート 実績 3,872人/年 対前年比 95.7% ・南ルート 実績 7,176人/年 対前年比 114.7%	「鴨川市地域公共交通網形成計画」に基づき、今後も利用状況の把握や利用者の意見聴取等を継続的に実施し、必要に応じてダイヤ等の見直し・検討を行うとともに、利用促進の取組に努める。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について(案)

平成 年 月 日

協議会名:	鴨川市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本市の公共交通は、高齢化の進展等により身近な移動手段として重要性が高まっている一方で、人口の減少や自家用車の普及を背景とした公共交通離れが進行し、交通事業者による持続的なサービスの提供が困難となっている。</p> <p>以上のような状況を踏まえて、住民、交通事業者、行政などの関係者が相互に協力し、公共交通網を持続可能なかたちで形成していくことを目指している。</p> <p>この内、本市コミュニティバスは廃止路線代替バスの再編により運行を開始し、利用状況等に応じ、運行のルート・便数・ダイヤの見直し等を適宜実施し、利用者数と運行収入の増加を伴いつつ、運行経費の削減を図ってきたところである。</p> <p>しかし平成17年2月の市町村合併以降認められてきた地方交付税の合併算定替措置の縮減が開始され、更なる経費削減が求められている一方で、少子高齢化への対応及び地域経済のより一層の振興を図るため、公共交通空白地域の解消、学校の統廃合等により通学・通園の遠距離化が進む小中学校・幼稚園のスクールバスとしての活用及び市内観光関連施設への公共交通によるアクセス手段の確保という観点からの路線延伸をはじめ、他公共交通機関との接続を改善するためのダイヤ改正、運行間隔を短くするための増便などのサービスの拡充が求められている。</p> <p>これらの状況のなかで限られた財源を有効に活用しつつも、地域住民にとって欠かすことのできない生活路線として位置づけられる本市のコミュニティバスの各ルート及び系統の確保・維持を図り、併せてサービスレベルの更なる改善を実現するため、地域公共交通確保維持事業の実施をするものである。</p>

